第45回全道自治労野球大会 ニュース

編集・発行　大会実行委員会事務局教宣班
２０１１年８月８日発行（第４号）

大会最終日、準決勝２試合、決勝を行った。激戦を勝ち抜いた４チームだけに、３試合とも好ゲームが展開され、全道の頂点には石狩市職労が登り詰めた。来年の全国大会に北海道地連代表として出場する。

準決勝

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
石狩	0	0	0	0	2	0	0	1	3	6
倶知安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【石狩６－０倶知安】

序盤は、石狩・部田、倶知安・瀧上の投手戦となる。均衡が破られたのは５回表の石狩ロエラー、相手四球と前の無死一塞の好投で中点の左８翼越え３塁打・鈴木謙の加点。９回表に稲垣の攻撃の試合を決めた。

倶知安は最後の７回裏に６点を挙げ、ロングヘ飛込む２ランで先制する。

【士別４－１長万部】

士別は初回、畑山のライトスタンドへ飛込む２ランで先制する。５回表には土谷の右前打で、さらに６回表にも北川の中前打で、着実に得点を重ねた。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
士別	2	0	0	0	1	1	0	0	0	4
長万部	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

士別対・北川長万部の好投は、前に６回裏まで無安打に抑えられる。士別は７回裏、三塁打で１点を返すが、後の守備が光り、そのまま逃げ切った。

決勝

【石狩５－３士別】

正午過ぎから開始された試合は、三〇度の暑さの中、熱戦となった。

士別は２回表、二死から中前二塁打、続く鈴木謙の二塁ゴロを士別・徳竹が捕球し、一塁へ送球する。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	R
士別	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
石狩	1	0	0	1	0	2	0	1	×	5

石狩は２回表、二死から一塁打で進塁し盗塁を狙ったが、捕手・鈴木謙の好送球に阻まれる。

４回表にも無死一塁から北川の犠打をまたも鈴木謙の好送により、二死となる。

一方、２回以降、士別・高橋の力投に抑えられていた石狩は４回裏、矢野のピッチャー返しと盗塁で一死三塁とし、鈴木謙の投ゴロの間に１点を追加する。６回表、士別は一死から樫山が中前打で進塁し盗塁を図るも、再び捕殺される。

＜最優秀選手賞＞
・獅子内　彰（石狩市職）

＜殊勲賞＞
・部田　亮輔（石狩市職）

＜敢闘賞＞
・高橋　幸人（士別市職）

＜ダイヤモンド賞＞
・鈴木　謙三（石狩市職）

＜打撃賞＞
・矢野　淳司（石狩市職）

優勝した石狩市職労チーム